

# おおさき 議会だより



津波防災の日(11月5日)に合わせて、大崎町沿岸部で実施された地震・津波を想定した避難訓練(大丸小学校屋上)

## 9月定例会

### こんなこと決めました

- 令和5年度補正予算…………… 2
- 町政を問う(一般質問)……… 6

- 9月議会定例会審議結果…………… 16
- インタビュー(ピックアップおおさき) …… 17
- 町民の広場・編集後記…………… 18

農業公社で購入する農業機械の費用を補助

トラクター2台、コンバイン1台

農業公社運営負担金

9月議会では、補正予算案や条例の改正案を審議し、いずれの議案も可決しました。

農業公社において導入予定のトラクター・コンバインの購入予算、さらに今後飼料作物関係の機械も導入予定。

4,297万4千円

議員

導入予定機械メーカーは外国製も含めるのか。また、作業に余裕のある馬力を備えた農機を導入すべきではないか。

答弁

導入後のメンテナンスを考慮し、国内メーカーに絞って指名競争入札を実施し、馬力については、

汎用性の高い60馬力程度が望ましいと考えている。



写真はイメージです

食材費の高騰による保護者負担を軽減する



給食を楽しむ児童

418万5千円

保育所などにおける主食及び副食費の物価高騰分を保育所などに支援し、食材費の高騰による保護者の負担を軽減するものである。  
対象児童数は465人と見込んでいる。

物価高騰による

影響緩和と支援で商工業振興

長期化する原油価格物価高騰による影響を受けている事業者の事業継承支援を行い、商工業振興をはかるものである。  
※対象事業者は、本町に事業所のある第2次・第3次産業に該当する法人及び個人事業者。

3,686万4千円

※主原材料価格が昨年に比べ、10%以上上昇していること。

※支援金は事業者の年間売上げ1,000万円未満は10万円、1,000万円以上は15万円



議員

対象事業者への案内に漏れがないように十分配慮した対応をされたい。

答弁

ホームページでの案内と対象事業者へは、要項などを郵送し漏れのないよう周知する。

補正予算の変更額

	増	減	合計
一般会計	2億3,702万9千円		124億4,445万3千円
後期高齢者医療特別会計		18万円	2億365万5千円
水道事業会計		△24万円	2億1,183万円
公共下水道事業特別会計	513万1千円		2億4,329万8千円

水道事業に対しての表示は収益的収入の予算に対しての表示

## 移住体験で本町への 移住きっかけづくり

ワーケーション

### 推進実行委員会補助金

東京圏や関西圏の企業の方々を対象に、本町で仕事や余暇を過ごしていたいただき、数日間の移住体験を通して本町への移住のきっかけづくりを行う。体験予定者は3組を目標としている。

600万円



古民家を活用したリモートビジネス

※ワーケーションとはワークとバケーションが合わさった言葉。勤務地にとられない柔軟な働き方をするという意味。

## マンホールポンプ場の 底盤破損による緊急工事

公共下水道の西三文

字マンホールポンプ場の底盤に、破損箇所があった。かなり厳しい状況であり緊急工事が必要であるため。

500万円

### 議員

底盤の破損の原因は何か。また、どのように対処するか。

### 答弁

ポンプの始動時と停止時に大きな負荷がかかるため、軟弱地盤の影響もありポンプを固定するアンカーが破損している。

対応は水利用の少ない深夜の時間帯にポンプ場を閉鎖し、バキュームカーで吸引しながら底盤の改修とアンカー設置を行う予定である。

## 子ども・子育て当事者の 視点に立った条例

### 子ども家庭庁が設置され

「学校教育法」「児童福祉法」「母体保護法」「医療法」「障害福祉法」など49の法律が改正された。これに伴い関係する大崎町の条例も改正整備された。

### 議員

上位法改正のマニュアルどおりの改正ではなく、本町及び本町住民の実体に合った条例に改正すべきではないか。

### 答弁

国の基準に合わせて作成しているが、可能な部分については今後直していく。



パートナーも子育て支援

## 人権擁護委員

人権擁護委員の推薦について意見を求められたので、議会は適任であると答申しました。

住所 大崎町永吉

氏名 上檔利春氏(72歳)



## 教育委員会委員

教育委員会委員に、次の方を同意いたしました。

住所 大崎町持留

氏名 溝口信男氏(74歳)



# 使われたか

## 総務厚生常任委員会

7月3日(月)

### 委員会活動レポート

#### 小型動力ポンプ付積載車



① 1,133万円

石油貯蔵施設立地対策等交付金は、町内すべての分団の消防車購入に活用できるのかとの問いに対し、

最近導入した消防車には、この交付金が使われており、町内すべての分団消防車に活用できるとのことです。

この工事は、令和4年9月の台風14号の影響により被災した、旧立小野小学校の体育館屋根防水シート撤去・養生等を行ったものです。

防水工事の保証期間は10年間となっております。雨漏り等の異常が発見された場合は、工事請負業者が対処するとのことでした。

#### エコルたちお野 災害応急工事



#### エコルたちお野 災害復旧工事

② 348万7千円

③ 2,090万円

#### 定住促進宅地造成工事



④ 2,728万円

この工事は、本町の人口減少及び人口流出を抑制するため、野方地区に住宅用分譲地8区画の整備を行ったものです。一区画あたりの面積と金額及び販売状況はどの問いに対し、面積は、約480平方メートル、金額は、約173万円、販売状況は8区画のうち、4区画が売約済みとのことでした。

今後、ほかの地区において、宅地分譲地を建設する場合は、計画の段階で、若い世代の意見を取り入れることと、敷地内の道路については、カラー舗装またはレンガ敷きにすることを検討するよう要望しました。また、地域の自治公民館活動に協力していただくよう要望しました。

#### 定住促進宅地造成配水管新設工事



⑤ 167万2千円

予算は適正に

# 文教経済常任委員会

6月22日(木)

## 町内事務調査



この工事は、野方地区活性化センター玄関ポーチの平板ブロック敷設、擁壁及び手すり等を整備したものです。本事業で整備した手すりについて、幼児等の転落防止のための柵を新たに設置できないか検討するとともに、樹木伐採等、安全確保のため管理を徹底するよう要望しました。

橋梁が崩壊した原因は、との問いに対し、豪雨によって流された倒木等が橋脚に滞留したことで河川が増水し、橋脚が流されたためであるとの答弁でありました。調査時に、河川に流木が発見されたため、護岸のメンテナンスのうえでも、早急に撤去するよう要望しました。



この工事は、あすばる温泉ポンプ改修工事として既存の温泉ポンプの引き上げ、水中ポンプ1台の設置を行ったものです。

あすばる温泉の源泉が枯渇した場合、町における対応策を検討されるよう要望しました。(現セントロランドあすばる大崎)

既設の建築年数の古いバンガローについては、料金体系を見直し、利用率を上げることを模索するよう要望するとともに、キャンプ場における猫の飼養等、衛生管理を改善し、担当課においても運営全般について指導を徹底されるよう要望しました。

(総務厚生常任委員会との合同調査)



- ⑤ ふれあいの里公園多目的広場公衆トイレ建設工事 (2,283万9千円)
- ⑥ 林地崩壊防止工事 (3,598万4千円)
- ⑦ 菱田小学校遊具新設工事 (124万円)



# 一般質問

8議員が登壇

# 町政を問う

よし 原 信 雄 議員

P7

- ・学校給食費の無償化について
- ・旧大崎第一中学校跡地活用について
- ・全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)の結果について



おか 元 修 一 議員

P8

- ・自主防災組織の技術向上について
- ・募金や寄付の社会貢献について



くさ 原 正 和 議員

P9

- ・人口対策について



いな 留 光 晴 議員

P10

- ・物価高騰から家計を直接救済する実効性ある支援策を求める
- ・基幹産業の家族経営農家を守る対策を求める
- ・公営・町営住宅について



かん 崎 文 男 議員

P11

- ・野良猫の取り扱いについて
- ・用排水路の管理について



なか 山 美 幸 議員

P12

- ・児童生徒の安全対策について
- ・交通弱者の移動手段確保について
- ・災害時における住民のインフラ整備について



ひら 田 慎 一 議員

P13

- ・持続可能な農業振興について
- ・教育行政について



ふじ 田 香 澄 議員

P14

- ・有機農業推進について
- ・女性の活躍推進事業の進捗について



## 一般質問とは

町長などの執行機関に対し、業務の執行状況や将来の方針などについて議員個人として政策論争を行うものです。

二次元コード\*をスマホ等で読み込むと各議員の一般質問を視聴できます。

\*バーコードを拡張するために開発された二次元コードは、端末を使って簡単にコードを読み取ることができます。

問い合わせ先：大崎町議会事務局 TEL 099-476-1111 (内線 310・311)

# 学校給食費の無償化をはかれ 無償化に向け前向きに検討する



吉原 信雄 議員

## 県内の現状認識は

**問** 県内の43市町村のうち学校給食を無償化している市町村は、5月5日時点で15市町村ある。

**町長**は、現状をどのように捉えているか。

## 子育て世帯の定住化対策の側面もある

**答 町長** 現在15市町村で取り組まれている状況で、学校給食の無償化を実施する市町村が急増したと実感している。

背景には、子育てしやすい環境づくりの取り組みや、人口減少問題による子育て世帯の定住化対策の側面もあると考える。

**必要な予算額は4,499万1,500円である**

**答 町長** 児童・生徒の保護者負担額の給食費を無償化した場合、4,499万1,500円の予算が必要になる。



野方小学校の給食風景

## 本町給食費の無償化はできないか

**問** 県内では、給食費を無償化にする流れができているように思うが、本町も少子化対策の一環として、給食費無償化を進めていく考えはないか。

## 前向きに検討する

**答 町長** 昨今の物価高騰の中、子育て世帯への経済的負担軽減をはかることは、子育てしやすい環境づくりや定住化対策につながることも考えら

れるため、学校給食の無償化は、有効な施策の一つになると思う。

国も学校給食費の無償化に向けての動きがある。本町でも無償化に向けて、前向きに検討していきたい。

## 旧大崎第二中学校跡地の活用は

**問** 平成26年3月に閉校になった旧大崎第一中学校の校舎は、築53年が経過している。

耐震等も含め校舎とグラウンドをどのように活用していくのか。

## 民間事業者から企画提案を募集する

**答 町長** 跡地利用については、野方インターチエンジに近く、交通拠点になり得るとの考えから企業誘致活動を中心に行う。

誘致に当たっては、雇用機会の創出、産業の振

興といった地域の活性化を条件とする「公募型プロポーザル」を行い、民間事業者から企画提案を募集したい。



活用が待たれる旧大崎第一中学校跡地

他に  
全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）の結果についての質問を行った

# 自主防災組織力の向上をはかれ

## 各学習を通して防災力を高める



岡元 修一 議員

**問** 本町において災害が懸念される急傾斜地の数を示せ。

**現在111ヶ所である**

**答 町長** 鹿児島県が土砂災害防止法に基づく基礎調査から指定した数は、111ヶ所である。

野方	41
持留	28
岡別	2
永吉	19
仮宿	12
井俣	4
横瀬	2
菱田	3
合計	111

(急傾斜地数)

**自主防災組織の設立数と課題を示せ**

**問** 本町における自主防災組織設立数と全集落との割合、組織が現在抱える課題は何か。

**136集落で設立されている**

**答 町長** 本町では、142集落のうち136集落で設立されており、設置率は95・8%である。

組織の抱える課題は、活動やスキルの低下、高齢化による担い手不足などが考えられる。

**自主防災組織力の向上をどのように進めるか**

**問** 地域ごとのさまざまな災害に対する自助、共助力を高めるためには、

町が率先して学習の場を設ける必要はないか。

**育成が必要不可欠である**

**答 町長** 組織が抱える課題を克服するために10月から鹿児島大学の井村隆介教授をアドバイザーに委託して防災力を高める取組みを共に進める。



令和2年7月6日 町内の豪雨被災地

**防災行政無線受信機の設置状況は**

**問** 災害時の必須機器である防災行政無線の個別

受信機は、全戸に設置されているか。

**設置率は82%である**

**答 町長** 個別受信機は各家庭に1台ずつ設置することとしているが、希望されない方については不要届を提出してもらっている。

**受信機の有効活用推進は**

**問** 防災行政無線は災害時、集落からの速やかな情報伝達及び平時の活動の案内にも有効である。未設置の方に必要性を伝えるべきではないか。

**活用増に向けて取り組む**

**答 町長** 災害時や行政全般の情報発信など、個別受信機による伝達は非常に有効なので必要性、有効性を説明していく。

**寄付や募金の目的は**

**問** 各団体の活動目的はどのようなものか。

**いずれも相互扶助である**

**答 町長** 相互扶助を目的とした団体の呼びかけである。一部は、本町の活動の交付金に充てられる。

**情報の平等な伝達が必要ではないか**

**問** 集落加入の有無に関わらず社会貢献の情報は等しく伝えるべきではないか。

**周知に努め理解や賛同が得られるようにする**

**答 町長** ホームページや町広報紙への掲載を前向きに検討していく。

※緑の基金・社会福祉協議会費・日本赤十字社会費・共同募金 等



# 定住人口を増やし子供を増やせ

## 移住・定住対策に力を入れる



草原 正和 議員

**問** 本町の現在の人口と今後の推移についてどのように把握しているか。

**答** 町長 令和5年8月1日時点の人口は1万2,130人。17年後の2040年には7,836人と予測している。また、約45%が65歳以上の高齢者となり、少子高齢化が進行していると考えている。

### 目標達成の手法は

**問** 第3次大崎町総合計画で2040年までに合計特殊出生率2.1、生産年齢人口を51%に維持する目標を掲げている。どのような手法で達成する予定か。

### 外国人で人口をカバー

**答** 町長 全国的に人口減少が進んでいて、超高齢化社会である。本町にはたくさん外国人労働者が来ており、外国人の実習生の方々が移住・定住できるように取り組んでいかなければならない。若者が減った分を外国人でカバーして人口を維持する手段として考えている。

### 移住・定住対策事業を示せ

**問** 本町における移住・定住促進事業とその実績を示せ。

### 多数の補助事業を展開

**答** 町長 多数の補助事業を実施している。移住体験の予算も計上しており、引き続き定住促進に取り組む。

現行の補助事業制度	
・住宅取得補助制度	
・賃貸住宅家賃補助制度	
・子育て世代向け集合住宅	
なのはなタウン	
シャルム文化通り	
・空き家リフォーム補助制度	
・空き家バンク制度	
・分譲地の整備事業	
野方・持留地区	

### なぜ本町は賑わない

**問** 多数の促進事業もあり、住宅取得補助制度の利用者も多数いるのに賑いがでた、住民が増えた、商業施設が進出したと、

なぜ実感できないのか、どのように認識しているか示せ。

### 街並み等が主な原因

**答** 町長 隣町の東串良町は集中型の住宅地を展開しているが、本町は農業振興促進地域によってなかなか住宅整備が進まない。また、街並みの利便性、利点といったところが大きく影響していると思う。

### 卵が先か鶏が先か

**問** いろいろな手法で地域を盛り上げて人口を増やしている地域がある。できない理由を挙げるのではなく、できるように考えるべきだと思う。

東串良町の住宅地も農業振興促進地域が含まれている。しかし今では立派な住宅地である。

商業施設誘致で宅地化を進める。宅地化を進め、商業施設の誘致を進める。

どちらが先でもいい、賑いある街づくりができるか。

### 担当課と検討する

**答** 町長 商業施設があるということは重要な条件だと思う。担当課と共同に対策を検討する。

他の市町村での事業事例

東串良町	定住促進住宅用地貸付事業	193区画、約660人が生活
都城市	移住応援給付金等	4カ月で439人移住、本年度1,200人移住計画
岡山県奈義町	子育て応援宣言の町	出生率2.95
群馬県明和町	大型商業施設の誘致	人口約1万人の町でコストコの誘致に成功

# 物価高騰に対する独自支援策は

## 今後の状況によって支援を検討



稲留 光晴 議員

**問** 物価高騰が家計を圧迫している。本町独自の大胆な実効性のある支援策が必要ではないか。

**今後支援を検討する**

**答 町長** 他の自治体のような独自策は現時点では実施していないが、今後の物価高騰の状況によっては何らかの支援を検討する。

**現時点で独自支援策の実施が必要ではないか**

**問** 町独自策が現時点での実施が必要で、今考え

るべきではないか。

**リサイクルありがとう商品券を発行予定**

**答 町長** これまでもプ

レミアム商品券を発行し、他自治体になくないような政策を打ってきている。リサイクルありがとう商品券を発行する予定である。

**和牛生産農家の実態はどうか**

**問** セリ価格と上場頭数の推移を示せ。

**頭数・平均価格ともに減少**

**答 町長** 平均価格20万円以上の下落と200頭以上の減少である。

子牛セリ市成績（大崎町）

税込価格（単位：円）（R5は4月～8月迄の分）

年度	めす			去勢			合計		
	頭数	平均	前年比	頭数	平均	前年比	頭数	平均	前年比
R1	1,136	653,541		1,584	747,537		2,720	708,254	
R2	1,075	613,126	△40,415	1,385	697,034	△50,503	2,460	660,367	△47,887
R3	1,073	642,244	29,118	1,441	728,917	31,883	2,514	691,929	31,562
R4	1,069	519,617	△122,627	1,438	622,406	△106,511	2,507	578,576	△113,353
R5	471	441,476	△78,141	580	566,357	△56,049	1,051	510,392	△68,184

**畜産農家戸数の実態は**

**問** 畜産農家数の推移を示せ。

**年々減少傾向である**

**答 町長** 農家数70戸以

上と母牛250頭以上が減少している。

生産農家数と母牛頭数  
1月1日現在

年度	生産農家数（戸）	母牛頭数（頭）
R1	309	4,344
R2	294	4,087
R3	277	4,430
R4	257	4,201
R5	237	4,090

**和牛肥育農家数と枝肉価格推移を示せ**

**問** 肥育農家数と枝肉価格推移を示せ。

**農家数、価格ともに減少**

**答 町長** 農家数は令和元年と比べ3割以上の減少である。

和牛肥育農家数と枝肉価格

年度	生産農家数（戸）	枝肉価格 A4等級 東京市場和牛去勢
R1	8	2,408 円/kg
R2	8	2,103 円/kg
R3	7	2,427 円/kg
R4	5	2,348 円/kg
R5	5	2,328 円/kg

**生産農家は今危機的状況である。大胆な支援を**

**問** 生産農家は危機的状況である。補助金では足りず、貯金が随分減ったと悲鳴が上がっている。牛1頭セリに出すと20万円赤字との声も聞く。都城市は畜産農家1、200戸を対象とする飼料価格高騰対策事業9億4,800万円を補てんし、ふるさと応援基金を充てた。

本町も57億5,000万円ふるさと応援基金を使うべきではないか。本町基幹産業の危機的状況を脱するためこの基金を使うべきではないか。

**どういう支援策が必要か検討しやうか**

**答 町長** 支援をしないということは言っていない。どういう支援策がベターなのか検討しながらやっていく。

# 野良猫問題の対策を示せ

## 無責任に猫を捨てないように 周知をはかる



神崎 文男 議員

### 不妊手術の助成について

**問** 猫は繁殖力が高く、一匹の猫から1年に20匹、2年で80匹まで増える場合もある。迷惑行為が増えるため、避妊、去勢、手術が必要となるが助成はできないか。

### 所有者不明猫の補助事業

**答 町長** 本町では所有者不明猫(野良猫)の過剰繁殖を抑制する目的で不妊及び去勢手術に対する補助事業がある。地域内にいる2名以上の野良猫のボランティア団体で申請し、該当する猫が確実に所有者不明猫であると認知された場合、雄猫で上限5千円、雌猫で上限1万円を補助する。ま

**答 町長** 野良猫に関する困りごと相談が増えていく。適正飼養については、町の広報紙やチラシ、定期的な啓発、周知をはかっている。今後も継続的に続けていく。

た、手術を施した後の猫は元の場所に戻す。

### 感染症の危険性はないか

**問** 猫から噛まれた50代女性が10日後に死亡した。原因は、重症熱性血小板減少症候群でマダニにかまれた野良猫から間接的にウイルス感染した。他にどんな病気があるか。

### 野良猫にはさまざまな病気がある

**答 町長** 伝染性呼吸器疾患いわゆる猫風邪はウイルスが原因で鼻水、くしゃみ、結膜炎の症状である。

猫ひっかき病は傷口からウイルス感染し10日ぐらいで腫れ、リンパの腫れ、発熱、倦怠感がある。また、パストレラ症で風邪や肺炎に似た呼吸器系の症状もある。この他に、外部寄生虫やノミ、ダニ等で感染する病気がある。



不妊手術済の印

不妊手術を受けた野良猫

### 野良猫問題の課題は

**問** 中途半端な優しさが野良猫問題を発展させる。見かけた野良猫にえさをあげたいと思ったら、猫の健康面、周りの環境など支援できるのかを考えなければならぬ。本当にサポートしてあげたいと思ったら、不妊手術の助成まで考えられないか。

### 無秩序に捨てないように 周知する

**答 町長** 道の駅やふれあいの里公園では過去に野良猫の異常繁殖を抑制するため民間による不妊手術を行い、その後少しずつ減少した。

くにの松原キャンプ場においてもボランティアで不妊手術をした。無秩序に捨てられることは非常にいかんがたい状況にある。無責任に猫を捨てないように周知をはかっている。



集落に出没する野良猫

# 児童生徒の通学

## 校内での安全対策は十分か

### 意見調整し対策を講じる



中山 美幸 議員

**問** 児童生徒の通学時や校内における安全対策に配慮した対応、対策がなされているか。

**通学カバンの軽量化は実施済みである**

**答 教育長** 12月議会で指摘された中学生のカバンの軽量化について、夏季休暇中に教室に棚を設置し必要な教科書やノートだけを持ち帰るような措置を行った。



重いカバンを積んで通学する生徒

**エアコンの温度設定は時節に合っているか**

**問** 今季非常に暑い日が続いている、児童生徒の熱中症対策、学校生活時の快適空間の維持は大丈夫か。以前指摘した教室のエアコンの温度設定は現状に対応した設定になっているか。

**各学校に適切な温度設定をお願いしている**

**答 教育長** 2学期はじめは特に暑さ対策には気をつけたい。エアコンの設定温度の指針はあるが、教室の状況、活動状況を考慮し各学校で設定温度を決めている。熱中症対策は暑さ指数計などの機器を活用している。発生の時の対応については教職員研修を行っている。

学校別暑さ指数計設置状況

学校名(生徒数)	数
大崎小学校(321名)	5
中沖小学校(50名)	4
大丸小学校(62名)	4
野方小学校(76名)	2
菱田小学校(55名)	1
持留小学校(26名)	1
大崎中学校(289名)	2

生徒数R5年8月31日現在

**水筒への補充用冷水機の設置はできないか**

**問** 児童生徒は水筒持参で通学している。水筒の

水が不足する事が多いとの話を聞く。熱中症予防からも水分補給は大切である。他議員からも提案されている、水筒補給用の給水機の設置の考えはないか。

**水道水や水筒で適時給水することを指導している**

**答 教育長** 個々で、のどが乾いた時、体育の時間など給水時間を取っている。学校からは「熱中症が起きたとの報告はない。」児童生徒にとっては自分の身の安全を考え給水するよう適宜、教師が指導していくことが大事と思う。

**事故予防策として提案している**

**問** 同僚議員も何回となく提案している。まだ検討されていないとの事、事故予防の観点からも必要である。

**児童の声を聞き、必要であれば設置する**

**答 町長** 登下校時の水筒の重さ、地球温暖化、児童生徒の声を聞き必要であれば対策を考える。教育委員会の捉え方、学校の捉え方、生徒の捉え方に差異があるので調整、話し合いが必要である。

他に

交通弱者の移動手段確保  
災害時の飲料水の確保などの質問を行った



水分補給で安心・安全

# 持続可能な農業振興対策を示せ

## 先進地に学び基礎を しっかりと積みながらやっていく



平田 慎一 議員

**問** 農業用水を活かし小水力発電の再生可能エネルギーを農地の保全に充てる財源として活用すべき、また、圃場整備(農道整備も含む)フオアシステムで行い作物のブロックローテーションをはかるべきである。

### 実現可能か調査が必要

**答** 町長 小水力発電の活用は実現可能か調査が必要。作付を効率的にやっていく上でブロックローテーションは大切でフ



整備が待たれる農業用道路

オアスを実施し汎用性を高めながら状況を見る。

### 農地の今後の維持管理は

**問** 農地の除草作業を機械化し負担軽減をすべき提案として土壌消毒器による熱処理・蒸気除草ができる機器の導入を考えるとどうか、農道の早期舗装整備も農業者から求められている。

### 圃場整備を進め対応する

**答** 町長 農道の除草は多面的機能向上対策事業や集落等にて行っているが熱処理の機械は初めて知ったので勉強する。農道舗装は圃場整備を進めながら対応する。

### 循環型農業の取り組みは

**問** 肥料・飼料の自主生産や本町にある原料の有効活用の考えは、また、学校給食に本町の有機作物を取り入れる考えはないか。

### 先進地に学びやっていく

**答** 町長 化学肥料・環境負荷の低減を実施するため家畜排泄物由来の堆肥利用促進は研究が必要。学校給食に有機農業で栽培した地元農産物を限定的に提供し、恒常的にできる形の取り組みを考える。

### 通学路の危険個所の認識は

**問** 国道220号線沿いに2ヶ所ほど危険家屋があるが、空き家対策の推進に関する法律で行政代執行をすべきではないか、また、ブロック塀の安全対策の整備・要綱等が変わったがその内容と対応は。

### 早急な対応を依頼している

**答** 町長 通学時の危険箇所は、家屋解体支援制度の利用を重ねて伝え早急な対応を依頼している。

### 教育長

令和4年度の検討及び対応は14件検討し10件の安全対応を実施、ブロック塀は各学校で調査し建設課の協力で法基準に満たない、倒壊等の危険があるものは撤去した。



危険家屋(歩道側落下防止対策済)

### 不登校児の現況と支援は

**問** 「だれ一人取り残さない学びの保障」に向けた不登校対策・公的支援体制はどうか。

### 要保護児童対策地域協議会を令和5年度に設置

**答** 教育長 令和5年7月段階で不登校児童生徒は小学校で3名、中学校で15名おり、中学校に教育支援センターがありスクールソーシャルワーカー・カウンセラーの活用を行っている。また鹿屋市のフリースクールに3名通っている。

### ※フオアシステムとは

圃場の地下水位を自在に調整することを可能とし排水性向上と用水管理の省力化を実現した

### その他の質問

障がい児支援の現況と方向性は(特別支援学校含む)  
・耕作放棄地の対応と対策及び今後の取り組みは

# 有機農業の推進状況は

## 今年度から本格的に取り組みたい



藤田 香澄 議員

**問** 町長公約の有機農業の推進に関して進んでいない理由や調査研究の実施状況はどうなっているか。

**本格的に取り組みたい**

**答** 町長 農業者の収益性や慣行農法と比較して手間がかかることなどが課題であるが、今年度から本格的に有機農業の推進に取り組みたい。先進地の方を講師として招いて、認定農業者及び家庭菜園を楽しまれる方も対象に講演会を実施

予定である。有機農業に関する組織づくりや調査研究についても、基礎的な勉強会等から開始したい。

**本町に眠る有機質資材の調査をすべき**

**問** 有機農業の基盤になる有機質資材が町内での程度発生しているのか調査を求める。

**余っている有機質資材の把握は必要だと考える**

**答** 町長 事業者で畑地還元されている可能性もあるが、それでも余る量について、把握しなければならぬと感じる。有機農業の源となる肥料等については、ペレット化して活用しやすくすることも可能性としてある。

**答** 環境政策課長 本町が2015年に作成したバイオマス活用計画の結果の活用に関しては、農林振興課等とも連携をしながら考えたい。



有機食材を活用したお弁当(綾町)

**町内の女性活躍推進事業の進捗はどうか**

**問** 本町の女性の活躍推進事業の目標年が近づいているが成果は出ているのか。

**町審議会等では女性登用の向上が見られる**

**答** 町長 計画している目標には未だ達していないが、農業委員会及び農地最適化推進委員会など、女性の登用率向上が見られる。

女性活躍推進に関する施策の目標と実績

計画	項目	目標	実績
第2期大崎町総合戦略	企業創業セミナーへの参加者数	男女問わず50名 (2025年3月までに)	女性 17名
	男性育児参加応援モデル事業	通称「くるみんマーク」取得のモデル事業所を少なくとも1箇所整備 (2025年3月までに)	0箇所
第2次大崎町男女共同参画基本計画	町の審議会等への女性の登用率	40%以上、60%以下 (2031年3月までに)	26.8% (令和5年5月時点)
	女性の人材育成とキャリア形成支援	様々な施策を実施予定	現時点、産業育成の人材育成事業補助金について女性の利用実績はない

第2次大崎町総合戦略及び第2次大崎町男女共同参画基本計画より作成、加筆

**女性のキャリア形成支援をどう進めるか**

**問** 本町の女性のキャリア形成支援をどう進めるか。

**まちの活性化のために検討したい**

**答** 町長 本町では活性化をはかるためキャリア形成支援に努めているが、不十分である。

都市圏からの専門家や人材を招き、キャリアアップ経営等のノウハウを習得できるような機会の提供を考えたい。



「子育てサポート企業」が受けられる認定マーク(厚生労働省ホームページより)

# 議員と語る会申込書

グループの住所・名称	住所	大崎町
	名称	
	代表者・電話番号	
	希望日時	第1希望日時 令和 年 月 日 ( ) 時 分 ~ 第2希望日時 令和 年 月 日 ( ) 時 分 ~
会場		
参加予定人数		

## 共にまちづくりを 考えませんか



意見交換を行う  
グループを募集  
します

切り取り線

- ・対象 大崎町に所在し活動するグループ等
- ・開催日時 令和6年3月末日まで
- ・開催場所 申込書に記載された場所を基に、協議のうえ決定
- ・応募方法 左記の申込書に記入の上、返信用ハガキの裏面へ貼り付けてご提出ください



← スマートフォンなどで二次元コードを読み取り、入力フォームから申し込むことも可能です。

切り取り線



差出有効期限  
令和7年3月  
31日まで  
(切手不要)

郵便はがき

8 9 9 - 7 3 9 0

鹿児島県曾於郡大崎町仮宿 1 0 2 9

大崎町議会 議会事務局 行



※回答を希望される場合は、住所・氏名をご記入ください。

住所

氏名

## 議会を傍聴 してみませんか!!

手続きは簡単です。本会議の当日、傍聴人受付票に住所・氏名などを記入していただくだけです。

なお、本会議は本庁舎3階の本会議場において午前10時から行われます。一般質問のある日程のときは、事前に防災無線でもお知らせしています。どうぞお気軽にお越しください。

次回の定例会は 12月開会予定です。

# 9月定例会議案等に対する採決状況一覧

(○賛成 ●反対 議長(富重幸博)は表決に加わらない。)

議案等の番号	件名	賛 否 の 意 思 表 示											議決結果	
		藤田香澄	草原正和	岡元修一	平田慎一	児玉孝徳	稲留光晴	神崎文男	宮本昭一	吉原信雄	中山美幸	中倉広文		富重幸博
議案第29号	令和5年度大崎町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第30号	令和5年度大崎町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第31号	令和5年度大崎町水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第32号	令和5年度大崎町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第33号	子ども家庭庁設置法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第34号	町道の廃止及び一部廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可 決
議案第35号	鹿児島縣市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の名称の変更及び同組合同規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可 決
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	適任である
同意第14号	教育委員会委員の任命について	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	同 意

切り取り線

## 議会中継をYouTubeで公開しています!

大崎町議会では、インターネット映像配信サービスを利用して本会議の生中継の配信を行っています。

### ～生中継及び録画映像の視聴方法～

令和3年12月議会から、本会議をYouTube(ユーチューブ)で配信しています。YouTubeのページにて「大崎町議会」で検索すると、動画が表示されますので選択してご覧ください。インターネットによるライブ中継以外にも、役場ロビーに設置のテレビでも視聴することができます。

大崎町議会 YouTube 大崎町議会 YouTube



大崎町議会

←スマートフォンで二次元コードを読み取るだけで「大崎町議会チャンネル」に進むこともできます。



町議会に対する意見をお聞かせください。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---





4年ぶりの野方ふるさと祭り開催！  
企画委員長に聞きました。



野方ふるさと祭り企画委員会  
委員長 上村 裕一 さん

## ふるさと祭り 成功の秘訣は？



広報広聴常任委員会委員長  
吉原 信雄 議員

吉原議員

野方ふるさと祭り企画委員会の委員長にどういった経緯でなられましたか。

上村さん

野方分館の定例会で、今回のふるさと祭りに向けて、実行委員になってくれないうかという打診がありました。企画委員が12名集まったのですが、その中で私が、最年長ということもあり企画委員長を引き受けました。

吉原議員

祭りの準備はどうでしたか。

上村さん

実行委員のメンバーの年齢は30、40代が中心でした。皆さん子育て世代で、中には2組ご夫婦でメンバーになってくださいました。準備を進めるうえでやらないといけないことが沢山あつて、担当制にしようとなつたときに、私はこれをやるって形でままとったんです。

メンバーが自主的に動いてくれたお陰で委員長として、本当に助かりました。そして地

「人と人とのつながり」を力に実行できました。

元を盛り上げたっていう気持ちかひとつになつて機運も高まってきました。みなさんお子さんをお持ちなので、気持ち的には子どもたちのためというのもあつたと思いますね。



ステージでのあいさつ(上村さん)

吉原議員

祭り本番はどうでしたか。

上村さん

天候にも恵まれて、来場者は過去最大級だったと思います。うれしかったのが、本当に多くの皆さまから「よかった、よかった」と言われましたし、弥五郎太鼓の出演者の方には「こんな祭りはなかなかないよね」と言われたのがすごく印象的でした。大盛況だったと思います。

吉原議員

大変だったことはありますか。

上村さん

金銭面で資金繰りに苦労しました。資本は、ほぼ100%寄附金と協賛金でしたので。努力の結果、お陰様で地域の方や、うれしかったのは野方出身の県外の方からも、多くの寄附をいただきました。

吉原議員

今後の課題はありませんか。

上村さん

今回祭りをさせていただいて、実感したことは、私たち若い世代は活力があるということです。地元を盛り上げたい気持ち、それが地域活性化につながると思います。今後、新たにイベントを企画したとき、そこで、資金が不足した場合は、町にお願ひするかもしれません。



今回の祭りで復活したお神輿

上村裕一さん、貴重なお話しありがとうございました。

# 私の想い

## 分館の活動を振り返って



菱田公民分館長  
川畑 光三郎



感染が始まった年でした。そこから最近まで多くのイベントや催し物が、中止や延期・縮小を余儀なくされ、地域寄り合いの場がなくなり、人との繋がりが希薄に感じるところでした。

早いもので令和5年度も残りが見えてきました。私は原口前分館長の任期を残して分館長のバトンを受け継ぎ、早いもので3期の4年目になります。毎月分館の役員会を行い、地域の多くの先輩方にアドバイスをいただきながら、役場や小中学校と官民連携を取りながら地域の活動を行っております。

私が分館長に就任した年が、令和2年コロナウイルスの爆発的な

今年の5月にコロナウイルスが、5類へ移行し色々な活動が徐々に再開され、菱田分館としても子ども会ふれあい祭りや、分館合同運動会など子どもたちの元気いっぱいに喜ぶ様子や、お父さんお母さん世代の活気、高齢者の方々の元気な姿など4年前の日常を取り

戻しつつあります。これも地域の皆さんのご理解とご協力の賜物でありこの場をお借りして感謝申し上げます。



菱田中学校跡地草刈り

今、日本の重要課題の一つ人口減少・少子高齢化の問題は、本町も深刻な状況にありま

す。また、若い子育て世代の集落加入率の低下も問題視されています。地域のコミュニティは非常に大事です。SDGsの内訳に、誰一人取り残すことなく、豊かに生きていくこととあります。すごく素敵な言葉です。このような感覚を一人ひとりが持ち、また育む、これを目標に分館活動を通じて地域の活性化に努めていきたいと思えます。



菱田改善センター花植え写真

## 編集後記

朝夕に秋の深さを感じる今日この頃ですが、町民の皆様いかがお過ごしでしょうか。4月の選挙後、議員活動を行う中で分かつてきたのは、私たちの使命は、「故郷は、近きにありて想うもの」だという事です。この町に住んで、暮らしに共に寄り添い、結果をお知らせしながらより良い生活へ導いてゆく。今後も、このような心掛けで委員一同頑張っております。今年も後、一月半お元氣でお暮らしてください。(岡元修一)

### 訂正とお詫び

前号の般質問の記事の中で、誤りがありましたので、訂正しお詫び申し上げます。

誤 公務分掌 正 校務分掌

### 議会広報広聴常任委員会

- 委員長 吉原 信雄
- 副委員長 岡元 修一
- 委員 中山 美幸
- 委員 中倉 広文
- 委員 平田 慎一
- 委員 草原 正和

### 発行責任者

大崎町議会議長 富重 幸博